

平成24年度第10回滝沢村教育委員会議定例会会議録

1 日 時 平成25年1月22日 午後4時00分

2 場 所 滝沢村役場 3階 庁議室

3 出席委員 委員長 内村宣夫
委員 佐藤泰美
委員 飯島仁
委員 菊池直子
教育長 盛川通正

4 説明のために出席した職員

教育部長	遠藤正紀
教育総務課長	野中泰則
学校教育指導担当課長	千田幸範
(以下「指導担当課長」という。)	
生涯学習課長	角掛実
文化スポーツ課長	沢口朝彦
給食センター総括主査	長嶺敏彦

5 議題及び議事の概要

委員長 これより平成24年度第10回滝沢村教育委員会議定例会を開催します。

(開会時刻 午後4時00分)

委員長 本日の出席委員は定足数に達していますので会議は成立します。

委員長 日程第1。会議録署名委員の指名をします。

教育総務課長 今回は菊池委員にお願いしたいと思います。

委員長 それでは本日の署名委員は菊池委員にお願い致します。

委員長 日程第2。会期の決定については、本日1日としたいと思います。これにご異議ございませんか。

(全員異議なし。)

委員長 それでは会期は1日と致します。

委員長 日程第3。教育長の事務報告をお願い致します。

教育長 (別紙報告書により概要を報告する。)

新設校関係で、先月21日に先進地視察ということで3つの小学校を見てきました。これらの学校は、木造校舎ということで木材を取り入れてほしいという地域の要望を取り入れた学校でありました。10年経過すると、外壁が風雪により劣化している、又、耐震という点では木材を大量に使用しなければならないため光を取り入れるのが大変だと思われました。3つの学校を職員と整備委員会の委員と視察しまして、1月9日に整備委員会が開催されました。視察の前のワーキングでは、こういう学校にしてほしいとか地域に開放してほしいなどの意見がありましたが、視察に行った委員さんからは学校は子どもたちのためにあるのだという意見が出されました。木材に関しても良い面とマイナス面を理解していただいて、委員会では、学校の本質に則した校舎等施設をとという方向に落ち着きそうだなと思います。ただ、内部には、木材を取り入れるなど工夫していこうという意見もでました。

学力向上ヒアリングということで2回実施しておりますが、今年度、滝二中学区が小中連携に取り組みましたが、学力向上についても小中連携で取り組む、授業や学習の決まりなどが地域で同様の取り組みであれば保護者も安心して学校に送り出すことができると思います。

1月21日の校長会議では、インフルエンザが発生してきているという報告がありました。滝沢小学校が一番最初に学級閉鎖措置となりましたが、ここ2、3日でも県下で学級閉鎖や学年閉鎖の情報が 있습니다。冬休み中の大きな事故は、ありませんでしたが遊んでいる中での骨折が2人ほどあったということでした。以上でございます。

委員長 はい、ありがとうございます。報告ですがなにかご質問ございませんか。

委員長 学力向上ヒアリングは2回あったようですが、対象校が違うのですか。

教育長 例えば、南中と鶴飼小と篠木小、二中学区、滝中学区、一本木中学区、姥屋敷小中と柳沢小中は一緒に実施しました。

委員長 成人式では、姥屋敷中と柳沢中の卒業生はいなかったんですか。

生涯学習課長 姥屋敷中は卒業生がいませんでした。柳沢中は、学校を通じて実行委員を募ったのですが、所在がつかめなくて実行委員をお願いできませんでした。という訳でスライドの中に柳沢中を入れられなかったのですが来年については、実行委員がいなくても学校から写真をお借りして事務局で作成すればいいかと今回反省しております。

委員長 他はよろしいですか。

(特になし。)

委員長 以上をもちまして第10回の教育委員会議を終了致します。

(閉会時刻 午後4時10分)

6 会議録作成者 教育長 盛川 通正

7 会議録署名委員

教育委員

教育長